

「国際ソロプチミスト奈良」について

国際ソロプチミスト奈良

国際ソロプチミストは、世界的な女性の奉仕団体で、人権と女性の地位向上を目指し奉仕活動をしています。

国際ソロプチミストは、1921年アメリカ・カリフォルニア州オークランドで結成され、2021年には100周年を迎えました。ソロプチミストという言葉は、ラテン語のSOROR（姉妹）とOPTIMA（最良）との造語で「女性にとって最良のもの」を意味します。国際ソロプチミストは、それぞれの地域社会や世界中で女性と女兒に教育の場を提供し、力を与えて、生活変革するために支援することを目的に活動しております。私たちが活動の際に着用するエンブレムは世界共通のもので、円盤上に両腕でソロプチミストのバナーを掲げる女性像が描かれており、女性の持つ活力、堅実、不屈の精神を表しています。この女性の背後には太陽の光が広がり、バナーの片方からは樾の葉と実が、もう一方からは月桂樹の葉がそれぞれ垂れさがっていて、樾の葉と実は組織の力強さと成長、その前進と偉業達成を、月桂樹は勝利のシンボルとして知られ、私たちのクラブにとって絶対的に必要な友情と成功を示しています。また国連の経済社会理事会（ECOSOC）の総合諮問資格を持つNGOとして国連専門機関の活動も支援し、時には連

携して活動しております。

2020年3月、新たにアフリカに連盟が誕生しました。それにより現在、国際ソロプチミストは五つの連盟で構成され、118の国と地域に2,915のクラブを有し、所属する約7万人の仲間たちと共に活動を続けております（2022・6・30日現在・国際事務局発表による）。

日本に初めてソロプチミストが誕生したのは1960年7月の東京です。私たち国際ソロプチミスト奈良（以下SI奈良）は、1972年11月に、日本で24番目のクラブとして、また奈良県内で最初に認証を受けたクラブとして発足しました。国際ソロプチミストアメリカに所属し、2府12県から成る日本中央リジョンの120クラブ、2,419名（2022・2・28現在）の組織の中で、奈良の地域社会への継続的な奉仕活動や、女性の教育・訓練のための支援、地域の教育機関への助成などを続けてまいりました。SI奈良独自の活動としては、県内の高等学校を卒業し、大学、または専門学校に進学を希望する、経済的に恵まれない女子高校生に入学金を助成する「希望の架け橋奨学金」、また、国際ソロプチミスト日本中央リジョンの活動



ロゴマーク

として、将来、社会に貢献し得る優秀な女子学生を支援するために学費を援助する「大学院女子学生奨学金」、夢の実現のために頑張る女子学生を支援する「大学女子学生・専門学校女子学生支援金」、家族を扶養しながら、大学や専門学校などで学び、キャリアアップを目指す女性を支援する「夢を生きる：女性のための教育・訓練賞」をはじめ、奈良の鹿愛護会や、奈良いのちの電話協会、奈良県中央こども家庭相談センターへの支援など、多岐にわたる奉仕活動を行っています。また、地域社会の中で奉仕活動に興味をもって積極的に取り組む次世代の若者を育てていくために、専門学校生、短大生、大学生を対象に男女を問わず10名以上で構成されるシグマソサエティ、中学生、



Sクラブ発表

高校生を対象に男女を問わず10名以上で構成されるSクラブをスポンサーしています。この支援金の提供や奉仕活動の協力を通じて私たちは、青少年の奉仕活動の意欲を高め、指導力を発揮させ、自己能力開発につながる機会を提供しています。

奈良市は2020年12月、フードバンク事業としてフードバンクセンターを開設されました。様々な理由から一般市場に流通できない食品や、余った食品などを企業や個人から募り、社会的・経済的に影響を受けやすいひとり親家庭や、子育てをしている生活困窮家庭に無償で配布提供されています。私たちSI奈良も、コロナ禍の新しい奉仕活動として、昨年度よりこの活動に参加し、会員からのたく

さんの持ち寄りの品を寄付させていただくことができました。

同じように、全国に約6,000カ所ある（2021年12月 NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ及び地域ネットワーク調べ）こども食堂は、子どもが一人でも行ける無料または低額で、大勢で楽しく食事できるよう運営されている食堂です。子ども達だけでなく、独居高齢者が利用されることもあり「地域食堂」「みんな食堂」などと呼ばれることもあります。国際ソロプチミスト奈良では2016年よりこども食堂いかるがとご縁をいただき支援金をお届けしています。コロナ禍にあって、閉鎖を余儀なくされている食堂も少なくない中で、ご支援を続けられたことは喜ばしいことです。

昨年度より、AYA世代のがん患者様への支援も始めました。AYA世代とは、15歳から39歳までの若年成人を指しますが、学業、就職、恋愛、

結婚、出産など、人生の節目となる出来事の集中する年代であるにもかかわらず、この世代のがん患者はそれらのイベントを予定通り行えなくなったり、断念せざるを得ないことも少なくありません。他の年代の患者に比べて国のサポート体制が確立しておらず、精神的不安や金銭的負担が大きいことが、がん医療の問題点にもなっています。このAYA世代の方々のために、プロカメラマンの方が呉服店の協力で振袖や袴を着つけて記念撮影をする支援プロジェクトを立ち上げられ、そこに私たちもご支援させていただいております。

さて、国際奉仕組織であるSI奈良は、異文化理解を促進し、共



時計塔贈呈

同奉仕活動を推進することを目的として、海外の5つのクラブ（オーストラリア・SIメルボルン、アメリカ合衆国・SIチコ、フランス・SIベルサイユ、イギリス・SIイーストボーン&ディストリクト、アメリカ合衆国・SIユージーン）と姉妹クラブとして締結しています。周年記念の折には海を越えて互いのクラブを訪問しあったり、メールで活動状況を報告しあいクリスマスカードを送りあって交流を深めています。また、子ども用のドレスを制作して、お互いの国の奉仕先へ共同寄付をするなどの活動も続けております。

私たちのSI奈良は今年11月に認証50周年を迎えます。昨年度よりいくつかの周年記念事業も行って参りました。昨年4月に、近鉄大和西大寺駅南口駅前広場に作られた多目的ルーム（おやこトイレ）の備品（子ども用トイレブース内衛生器具一式）を寄付しました。12月には同じ広場に新たな街のスタートを祝して、広場利用の利便性向上につながるようとの

願いを込め、太陽光発電で動く電波時計の時計塔を贈呈させていただきました。

奈良県への50周年記念奉仕として「奈良県新型コロナウイルス感染症対策基金」への寄付も行いました。オミクロン株急拡大が懸念された頃でしたので、県からは「最前線で頑張っている医療従事者の方々への励みとなります」とのお言葉と感謝状を拝受いたしました。

この3月には、奈良市の子どもセンターへ本棚と書籍一式も寄贈できました。新しく柏木町にオープンしたこの施設は、子どもの安心・安全を守るとともに、専門職の方に子育ての相談ができ、親子の触れ合いがはぐくまれる総合施設で、そこに50周年の記念事業の一つとして継続奉



5FLからのクリスマスカード



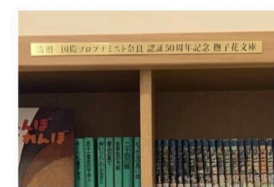
ソロプチミスト日本財団 令和3年度 年次贈呈式

仕ができることは大きな喜びでもあります。

コロナ感染症の拡大で、今までと生活スタイルが一変しました。私たちの活動においても、内容の変更を余儀なくされ、手段を大きく変えねばならないこともありました。慣れないことに戸惑いもありましたが、それによって新たな発見もできました。今後も私たちは、さまざまに変化する時流に柔軟に対応しつつさらなる魅力あるソロプチミスト奈良となるように、認証50年を機に、次の世代へ続く奉仕活動を続けてまいります。



子ども用トイレ衛生器具一式贈呈



撫子花文庫

